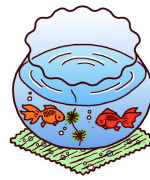


健やか

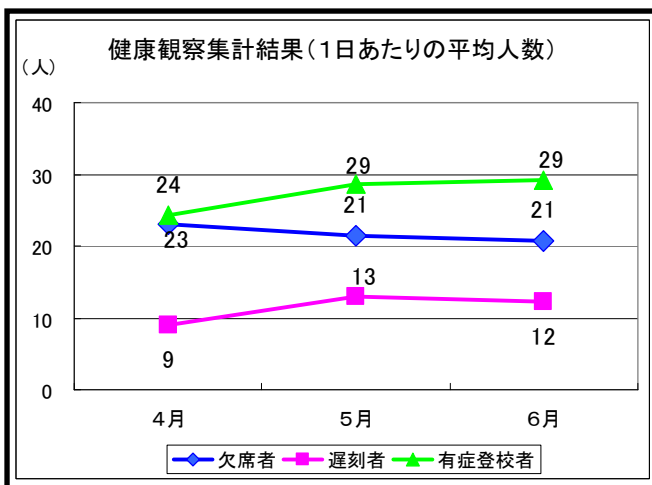


春日井市立柏原中学校
保健だより
平成 24 年 7 月 12 日

蒸し暑い毎日が続きますが、そんな中でも、授業や部活動にがんばっているみなさんはとても素晴らしいです。

さあ、もうすぐ夏休みです！リズムある生活で元気に夏を過ごしてほしいと思います。そして、2 学期も元気なみなさんに会えることを楽しみにしています。

1 学期を振り返って

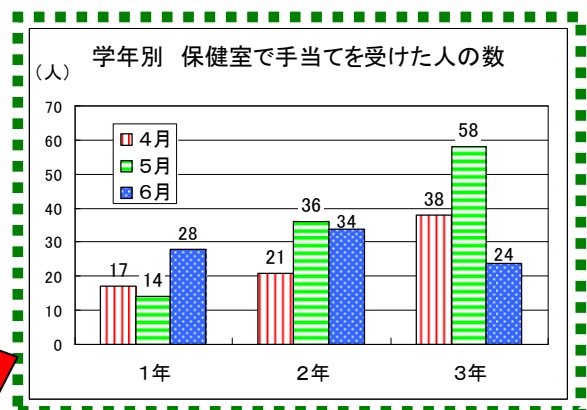
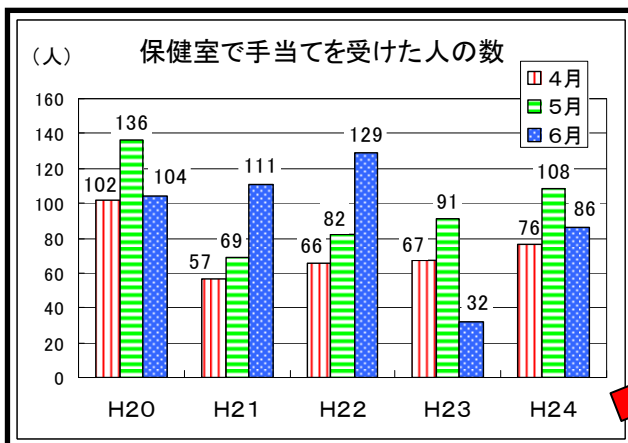


1 学期の一日あたりの平均欠席者数は 22 名(昨年度 16 名)でした。有症登校者数とともに昨年度より増えています。これは 4 月にインフルエンザが流行したことも原因の一つと考えられます。

遅刻者数は今年度も昨年度とほぼ同数の 11 名でした。

保健室来室者は、昨年度と比べて増加傾向にあります。学年が上がるにつれて内科的利用者が増えています。外科的利用者は 2 年生がやや多かったです。4・5 月は 3 年生が、6 月は 1・2 年生の利用が多く見られました。

保健室の利用状況



定期健康診断が終了しました。身体測定や各種検診の結果については、個人懇談のときにお渡ししました個票をご覧ください。なお、検診の結果、治療や詳しい検査の必要な人へは、検診終了ごとに文書でお知らせしています。用紙をもらった人は早めに受診しましょう。夏休みを利用して受診するのもいいですね。用紙をもらわなかった人は受診の必要がない人です。さらに健康に気をつけて生活しましょう。

3年生学校保健委員会「薬物乱用防止教室」★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

輝け!いのち ～自分の体・心・命を大切にしよう～

6月21日(木)2時間目、3年生を対象に学校保健委員会「薬物乱用防止教室」を行いました。愛知県警察本部少年課少年育成係の田中正夫さんから、DVDを使って薬物乱用の害などについてお話していただきました。DVDでは、二人の男性が自分の薬物乱用体験を語ってくれました。

自分の意思でいつでも薬をやめられると思っていたが、薬がなければ生活できない体になってしまった。口から泡を吹いてけいれんをおこしても、おさまればまた薬を求めている自分がいた。



10年ほど前に2～3回薬物乱用をしたことのある女性が天ぷらを揚げているときに、手のひらから無数のゴキブリがはい出す幻覚に襲われ、熱い油の中に両手を突っ込んでしまった。



二人の体験談からは、薬物の依存性や耐性、フラッシュバックの恐ろしさを感じました。

私たちの一番身近な薬物はタバコとお酒です。これらはゲートウェイドラッグとも言われ、副作用や依存性の強い覚醒剤などの薬物乱用者の多くが最初に使用する薬物と指摘されています。

かけがえのない体・心・命を守るためにも、「薬物には絶対に手を出さない!」「誘われてもきっぱり断る!」ことの大切さを学びました。

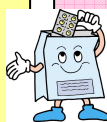
3年生 ～感想の紹介～

DVDの体験者や田中さんの話を聞いて、薬物の恐ろしさを改めて感じた。小学生でも薬物を手に入れることができる時代なんて、危険はすぐそこに迫っているのだと思った。薬物は心の隙間に入ってくるそうだ。助けを求める人がいない時こそ自分を自分で守らなくてはと思った。

3の1 女子

ドラッグをやると自分が自分でなくなってしまうことがわかり、絶対ダメの理由がしっかりわかった。

3の2 男子



体験談を聞いて、より薬物の恐ろしさを実感した。軽い1回が人生を変えてしまう1回になっているんだと思った。誘われてもちゃんと断れる人になりたい。

3の4 女子

誰にも迷惑をかけなければ犯罪じゃないと思っていたが、薬物で脳が支配されしまったり、薬物から抜け出すのには家族や友達にも支えてもらわなくてはならないとわかった。

3の3 女子

あらためて薬物は怖いと思った。その中でも依存が一番怖いと思った。薬物はやりたくないじゃなくて、だんだんやらなきゃいけない体になってしまうと知って、本当に危険な薬物だと思った。

3の5 女子

“薬物なんて自分には関係ない”“勧められても絶対に吸わない”と初めは考えていたけど、今回話を聞いてけっこう身近に薬物が近づいていると感じた。

3の6 男子



薬物を使ってはいけないことは前からわかっていたけど、DVDを見てとても怖くなり、絶対にダメだと改めて思った。体験者の話を聞くと、本当に体がボロボロになってしまうんだ、幻覚や幻聴が起こってしまうんだと怖くなった。薬に体が支配されるなんて考えたくない。

3の7 女子